

働くパパママ奮闘記

彩の国東大宮メディカルセンター

中山 有香

氏名： 中山有香（インタビュー時 42 歳）
所属： 彩の国東大宮メディカルセンター
臨床工学科・業務サポート課 技士長
資格： 認定医療機器管理関連臨床工学技士・
透析技術認定士・ICLS インストラクター
職歴： 2003 年 上尾中央総合病院へ入職
2019 年 彩の国東大宮メディカルセンターへ転勤
2023 年 技士長へ 10 月業務サポート課 所属長兼務へ



Q:今回は3児のママでもある彩の国東大宮メディカルセンター技士長の中山有香さんにインタビューさせていただきます。まず現在の業務内容を教えてください。

管理業務がほとんどです。たまにスコープ操作の休憩交代などもしています。各部署との調整や後輩の相談や指導、書類の作成、メールの返信、委員会、会議、ミーティングへの参加で1日が終わってしまいます。CEの仕事とは違いますが、院長秘書・各部署のサポートをする課としての業務も行なっています。取材やテレビ撮影対応などもやります。昨年までは臨床をやっていて、外来透析、手術室、カテ、機器管理など、当院で行っている業務は日替わりで行っていました。

Q:現在3人のお子さんを育てているとのことですが、育児休暇はそれぞれのどれだけの期間取得しましたか？またご主人は育児休暇を取得されましたか？

長女(中1 13歳)、次女(小4 10歳)、三女(小1 7歳)がいます。長女は1歳1ヶ月(常勤)、次女は1歳2ヶ月(時短)、三女は6ヶ月(時短)の時に復職しました。

夫は取得していません。10年以上前であり、男性が育児休暇を取得するには否定的な雰囲気はまだありましたし、職場がそれを許しませんでした。夫自身は昔から育児休暇に抵抗がありませんでしたので、もし今なら取得すると思います。予定は100%ありませんが(笑)。夫と「育児休暇取得したかったね」と話すこともあります。



Q:産休・育休で長期間職場を離れることに対して不安はありましたか？復帰してから仕事と子育てのバランスについて大変だったことなどがあれば教えてください。

出産するまでは最前線で後輩たちを引っ張っていく立場でしたので、不安しかありませんでした。長女出産時は「私がやらなきゃ」という気持ちもあり、常勤での復帰をしました。幸い我が家は夫婦二人で育児はもちろん、家庭を回せたので(～ヶ月検診とかも夫がいきました)、生活自体は目まぐるしいですが、何とかできました。ほぼ記憶はないですけど。バランスで大変なのは「気持ち」でした。私は仕事がやりたい人間ですので、「子供」を理由にやらせてもらえない業務があったり、コールができなかったり、緊急があっても残れなかったりと、悔しいというか何とも言えない気持ちが当時がありました。ただ、2人目妊娠した時くらいから、「気持ち」にも変化ができました。子供がいると、急な帰宅、休みがつきまとうので、「自分がいなくても回る組織作り」を意識して仕事をするようになりました。

今は「時間」のバランスを取るのが大変です。立場上、朝早く子供が学校行く前に家を出なきゃならなかったり、土日に留守番させたりと。まあ子供たちは私がいなくても、ゲーム・スマホやり放題なので楽しそうですけど(笑)。

Q:「自分がいなくても回る組織作り」はバランスを考えると大切ですね。では現在の仕事がある日の1日のスケジュールを教えてください。

4:30 起床、～5:00 自分の支度、～7:00 子供の準備をしながらパソコン(仕事やPTA関係など)、7:15 出勤、7:30 子供にテレビ電話をしながら見送り、8:00～17:30 仕事、～19:00 三女の学童の迎え、～20:00 夕食、子供の習い事の送迎、～21:00 お風呂、～21:30 就寝

Q:このスケジュールを見ても3人の子を育てながら働くのは大変なことだと思いますが、ご家族・職場・友人などの関わりで助かっている事などがあれば教えてください。

自分に関わってくれている全ての方に助けられていますね。家族は子供も含めて私の仕事のスタイルを理解してくれていて、「母」「妻」としてこうあるべき！を押し付けられないのは助かっています。日常的な家事は夫がほぼやってくれていますので、仕事にも打ち込めています。今の職場も休みやすいですし、子供のことも相談しやすい雰囲気があります。仕事をしながら、「子供が・・・」なんてお互い話をしたり、ママ友には言えない子供の悩みを聞いてもらったりするので助かっています。また、ママ友も含め友人たちにも助けられています。子供の送迎を交代で行ったり、学校の様子を教えてくださいしてくれます。ママ友というとネガティブなイメージを持つ人も多いですが、さらっとした付き合いができる友人が多いので、学校などで会ってバカなことを言い合えたり、飲みに行ったりしています。同じ世代の子供を持つママ友との時間も大切な時間です。

Q:では休日の1日の過ごし方も教えてください。

何も予定がない日は家族で遊びに出かけることが多いです。近場の公園や話題のスポットなどにか

く外で遊ぶのが大好きです。夫が仕事の時は女4人でお風呂に行ったり、映画に行ったり、一日パジャマのままダラダラしたりしています。このインタビューを受けている今日がまさにそうです(笑)。これから近くの回転寿司で夕飯&晩酌です。

Q: 女4人のお出かけは賑やかで楽しそうですね。子育てをされていて一番の楽しみは何ですか?

子供たちから繰り出されるくだらない話や芸ですかね。常にお笑い芸人が近くにいる感じです。子供ってこっちが意図しない動きや話をするので。意思疎通ができるようになった1歳くらいの頃から大きくなった今でもいきなり変な踊りや面白いことを言って笑わせてくれます。

Q: 子育てで様々な経験をしているかと思いますが、その中で何か仕事にも繋がるようなことはありましたか?

子供を産まなければ交わることは絶対ないだろう人との関わりかなと思います。仕事で関わる人たちは、同じ方向を向いている人が多いので共感できることも多いと思いますが、子供を通して知り合った人たちは、全く違う環境や考え方を持っているので、自分の視野の狭さに気付かされたり、相手を納得させるためのアプローチ方法を考えたりするようになりました。小学校のPTA会長をやっているのも、特にそういった場面も多くて面白いです。後は図太くなりました(笑)。子育てしながら、時には悩んだり落ち込んだりしてきましたが、子供が増えるにつれ、「ま、何とかなるか」と楽観的に考えられるようになりましたし、身近で子供たちの失敗もたくさん見ているので、仕事でも患者さんに影響がない失敗は「ま、何とかなるか」と恐れなくなり、とりあえずやってみよう、何でもやってみようになりました。後輩にもそう言っているのも、「とりあえずやってみて、失敗したら方法を変えればいい」と様々なことに挑戦してくれています。

Q: 子育てに奮闘されながらも日々充実した生活送られていて、その経験を仕事にも活かされているため、とてもバランスがとれていると感じました。最後になりますが、これから働きながら子育てをしようと思っている臨床工学技士に向けて一言お願いします。

仕事と育児の両立や経済的な面など、色々な不安があると思いますが、「ま、何とかあります」(笑)。当時は辛いと思ったことも、振り返ると「何で、あんなに思い詰めていたのだろう?」と笑い話にできます。1つだけ私が気をつけてきたことは「子供のせい」にして自分のことを諦めないことです。確かに「今」は子育てが原因で出来ないこともあるかもしれませんが、子供と一緒に成長した自分は、当時より図太くなり失敗を恐れずに挑戦出来ます。

また、身近に応援してくれる子供たちは一番のパワーの源です。「ま、何とかなるか」で気楽に人生楽しみましょう!

